

- 1 金印が作られた紀元1世紀頃、地中海を中心に繁栄していた当時の巨大な帝国を何という？
① クシャーナ朝 ② ローマ帝国 ③ マケドニア王国 ④ パルティア
- 2 弥生時代に北部九州を中心に多く出土している、中国から輸入された鏡を何という？
① 三角縁神獣鏡 ② 銅鐸 ③ 小形仿製鏡 ④ 漢鏡
- 3 古代中国の記録などを通じて、当時の日本（倭）の状況を知ることができる資料のうち、出来事や制度を記録した書物を何という？
① 歴史書 ② 地理書 ③ 法典 ④ 随筆
- 4 「漢委奴国王」と刻まれた金印が発見された、福岡県にある場所はどこ？
① 対馬 ② 壱岐 ③ 志賀島 ④ 種子島
- 5 1世紀に日本の奴国の王から使者が送られた際、返礼として金印を授けた後漢の皇帝は誰？
① 武帝 ② 始皇帝 ③ 玄宗 ④ 光武帝
- 6 静岡県にあり、水田のあとや高床倉庫のあとが見つかった、弥生時代の遺跡を何という？
① 三内丸山遺跡 ② 吉野ヶ里遺跡 ③ 登呂遺跡 ④ 大森貝塚
- 7 弥生時代、奴国の使者が金印を授かった、当時の中国の王朝を何という？
① 後漢 ② 魏 ③ 前漢 ④ 隋
- 8 福岡県の志賀島で発見され、1世紀に中国の皇帝から日本の王に贈られたことを示す重要な遺物を何という？
① 銅矛 ② 金印 ③ 銅鏡 ④ 銅鐸
- 9 弥生時代に大陸から伝わり、銅剣や銅矛などの作成に用いられた技術のことを何という？
① 木器 ② 金属器 ③ 土器 ④ 石器
- 10 弥生時代の日本が、中国の王朝へ進んだ文化や権威を求めて使者を送り、贈り物や献上品を送る外交形式を何という？
① 遣唐使 ② 大化の改新 ③ 冊封 ④ 朝貢
- 11 邪馬台国の卑弥呼が魏の皇帝から贈り物を受けた様子など、当時の日本の様子が詳しく記されている中国の歴史書を何という？
① 魏志倭人伝 ② 日本書紀 ③ 風土記 ④ 古事記
- 12 銅鐸が主な役割として使われた、豊作を祈るなどの行事を何という？
① 狩り ② 戦い ③ 祭り ④ 交易
- 13 高床倉庫の柱に取り付けられた、ネズミが倉庫の中に侵入するのを防ぐための工夫を何という？
① ネズミ返し ② 茅葺き ③ 高床 ④ 掘立柱
- 14 佐賀県にあり、周囲に濠（ほり）を巡らせた弥生時代の集落跡として知られる代表的な遺跡を何という？
① 三内丸山遺跡 ② 大森貝塚 ③ 吉野ヶ里遺跡 ④ 登呂遺跡
- 15 弥生時代に大陸から金属器とともに伝わり、それまでの採集中心の生活から定住型の社会へ変化させる大きな要因となった技術を何という？
① 漁労 ② 採集 ③ 狩猟 ④ 稲作



① 隠す

赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

② 言う

解説を読んで、用語を口に出す

③ 印を付ける

言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	<u>ローマ帝国</u> は、地中海沿岸の全域を支配下に置き、高度な法整備や道路網、水道技術などを有していました。		2 <u>ローマ帝国</u>	☐
2	<u>漢鏡</u> は、中国の漢王朝で鑄造された銅鏡で、高い鑄造技術による精巧な文様が特徴です。		4 <u>漢鏡</u>	☐
3	『後漢書』や『魏志倭人伝（三国志）』などが代表的な <u>歴史書</u> です。		1 <u>歴史書</u>	☐
4	後漢の光武帝から授けられたとされる「漢委奴国王」の金印は、江戸時代、福岡県の <u>志賀島</u> で農作業中に偶然発見されたと伝えられています。		3 <u>志賀島</u>	☐
5	当時の日本の「奴国」の王が、後漢の都に使者を派遣しました。それに対して、皇帝である <u>光武帝</u> は、親交のしるしとして「漢委奴国王」と刻まれた金印を授けました。		4 <u>光武帝</u>	☐
6			3 <u>登呂遺跡</u>	☐
7	57年、九州の奴国の使者が中国の王朝である <u>後漢</u> の皇帝を訪れ、朝貢を行いました。		1 <u>後漢</u>	☐
8	1784年、福岡県の志賀島で農夫によって発見されました。		2 <u>金印</u>	☐
9	<u>金属器</u> には主に銅製品（青銅器）と鉄製品がありました。		2 <u>金属器</u>	☐
10	<u>朝貢</u> は、中国の皇帝に対して周辺諸国の支配者が使者を派遣し、贈り物（貢ぎ物）を差し出す外交儀礼です。		4 <u>朝貢</u>	☐
11	魏の歴史をまとめた『魏志』のうち、東夷伝という章に倭人に関する記述があり、一般に『 <u>魏志倭人伝</u> 』と呼ばれます。		1 <u>魏志倭人伝</u>	☐
12	銅鐸は、このような <u>祭り</u> の場で、神聖な音を出したり、掲げられたりすることで、人々を統率し豊作を祈るために使われました。		3 <u>祭り</u>	☐
13	柱の途中に板状の出っ張り（ <u>ネズミ返し</u> ）を取り付けることで、地面から登ってくるネズミがそれ以上進めないように工夫されていました。		1 <u>ネズミ返し</u>	☐
14	<u>吉野ヶ里遺跡</u> は、周囲に二重の環濠と柵をめぐらせた巨大な集落跡です。		3 <u>吉野ヶ里遺跡</u>	☐
15	<u>稲作</u> が定着したことで、人々は安定した食料を得られるようになり、収穫の時期に合わせて同じ場所に住み続ける定住生活が始まりました。		4 <u>稲作</u>	☐

言えなかった用語ノート